

野鳥写真撮影のマナーについて

ご存じのように我孫子市は人と鳥の共存するまちづくりを市の目標として掲げています。鳥をテーマにして我孫子市で開催されるジャパン・バード・フェスティバル(JBF)も単に鳥を通じて楽しむだけではなく、環境と生物多様性の保全を推進し、鳥との共存の理念を社会の多くの方々に広めることのできる祭典でなければなりません。鳥フォトコンテスト BIRD-1 グランプリもまた例外ではなく、ご応募いただく皆様には作品の撮影について次のような点にご配慮をお願いいたします。

このフォトコンテストでは、野鳥の生活と環境に配慮することを最優先とします。野鳥の生活を妨害したり、繁殖を妨げたり、生息環境に影響を与えたりするようでは、「鳥が好き」とか「美しい鳥の写真が撮りたい」と言う資格はありません。作品のために環境に手を入れること、たとえば枝や草を刈り払ったり新たな止まり木を作ったりすることは慎んでください。また鳥にストレスを与えるような撮影は慎んでください。とくに繁殖期の鳥はデリケートです。たとえば育雛中の親鳥は相当の危険を感じても巣に戻ってきますが、巣に戻っていれば影響がないということではありません。本来戻る頻度より回数が少なくなり、餌が足りなくなったりヒナが十分に暖められなかったりして、一見大丈夫そうに見えても、あとで繁殖が失敗するかもしれません。営巣中の撮影は原則としてお控えください。

また、餌付けによる撮影の是非は、賛否両論あるようですが、野外における餌付けは、野生動物保護の観点からは安易には勧められません。自然は、生物同士がお互いに食べたり食べられたりするというネットワークで成り立っています。自然を守るため、あるいは鳥をもっとよく見るためには、自然を全体として豊かにすることを考えるべきです。情操教育や希少種の保護等の見地から許容されている、家庭の庭や学校の校庭等の閉じた敷地、野鳥公園などでの管理された給餌を除いて、餌付けを使用した写真のご応募はご遠慮ください。

また、野鳥の生息地には農耕地や住宅地などもあります。これらの場所は地元の住民の方々の生計や生活の場です。撮影のために無断で私有地に立ち入る、狭い農道に駐車して他の車の通行に支障をきたすなど、地元住民の方がたに迷惑になる行為をしてはいけないのは一般市民として当然のことですが、鳥と人との共存を社会に広めるJBFの理念を思い起こしていただき、再度いっそうのご注意をお願いいたします。

多くの鳥好きの皆さんが、これらの点に注意を払っていただき、多数の力作を応募してくださることをお待ちしております。



人にも鳥にも優しい撮影を心がけよう！

全日本鳥フォトコンテスト 応募要項 in JBF2021

募集テーマ

1.生態・行動部門

飛翔やさえずり、採食、水浴び、かわいい・カッコいい表情など、鳥たちが見せてくれるさまざまな行動や生態をとらえた写真。

2.環境部門

四季折々のさまざまな風景の中にいる鳥たちの姿、生息環境の異変や変化の中で生きる鳥たちを写した、問題提起の意味も込めた写真。

3.クリエイティブフォト部門

撮影した鳥の写真を、デジタル加工技術を用い、より鳥の魅力や芸術性を高めた写真。(合成などの画像加工処理をした作品)

応募形態

作品のデジタルデータ(2MB以上、jpeg形式)を記録したCD、またはDVDと、作品を2Lサイズ(127×178mm)でプリントしたものを送付。
(トリミングをしている場合にはトリミング済の画像データをお送りください。)

対象作品

国内外を問わず、未発表の鳥の写真

※ご自身のホームページや展覧会などで、営利を目的とせずに発表されたものであればご応募いただけます。

※鳥の生活に影響を与えていることが明白な写真は選考の対象外です。(撮影マナーについてはhttp://www.birdfesta.net/images/b1_manners2.pdfをご覧ください)

※生態・行動部門/環境部門：合成/加工写真(作品の重要な要素となるような加筆などの二次的な画像加工処理を施した写真※1)は選考の対象外です。

クリエイティブフォト部門：合成などの画像加工処理した作品のご応募が可能です。*2

*1軽度の色、明るさの調整などは可能です。*2全ての画像の著作権が応募者にあるものに限り、印刷した写真に加工を施したものは不可、画像加工済のデータとプリントでご応募ください。

※デジタル一眼カメラ、コンパクトデジタルカメラ、デジスコ、スマスコ、スマビノなど撮影機材は問いません。(スマスコ入賞作品は解像度によってはA4プリントでの展示)

※ボジフィルムで撮影された作品でも、デジタルデータに変換されたものであればご応募いただけます。

応募方法

作品のプリントの裏側に必要事項を記入した専用の応募票を貼り付け(作品1点につき応募票1枚を貼り付けること)、記録メディア(1つのメディアに全ての応募作品を記録すること)、応募手数料(郵便為替)または振込明細書とともに右記宛先に郵送してください。

応募手数料

1部門(3点以内)につき1,000円。

以下のいずれかにてお支払い、ご送付ください。

- 1)無記名の郵便為替(普通為替または定額小為替)を作品と同封。
- 2)ゆうちょ銀行より：ゆうちょ銀行口座記号番号：00280-7-106209または、他銀行より：ゆうちょ銀行0二九店(ゼロニキユウ店)当座0106209「ジャパンバードフェスティバル実行委員会」宛に振込み、利用(振込)明細書のコピーを作品と同封。(振込手数料はご負担ください。応募者名と振込者名を同じ名前にし、利用(振込)明細書は振込月日のわかるものをご用意ください)

制限点数

各部門1人3点まで。(複数ご応募いただく場合には作品展示優先順位をご記入ください。応募点数が多く、展示スペースに届出しきれない場合、上位作品のみの展示になります。)

審査員

叶内 拓哉(野鳥写真家) 戸塚 学(野鳥写真家) じ鳥くん(我孫子鳥の大使)
中野 泰敬(野鳥写真家) JBF実行委員

入賞作品の発表

JBF公式サイト、およびSNSにて発表/展示。BIRDER誌にも掲載します。

*新型コロナウイルスの感染状況によっては、JBF会場での作品展示、講演会は行なわれない場合もございます。

●●● 送付先 応募締切:2021年8月16日(月) 必着 ●●●
〒270-1146 千葉県我孫子市高野山新田193 水の館内
我孫子市役所 手賀沼課 Tel:04-7185-1484
JBF2021「全日本鳥フォトコンテスト」係

【応募規約】本コンテストの応募者は、ご応募の時点で、当規約/規定に同意したものとみなされます。

●画像データ(RAWデータ不可)の入った記録メディア(CD、またはDVD)を送付。画像ファイルの形式はJPEG、サイズは800万画素以上(3,264×2,448ピクセル以上)を推奨。

●応募手数料として、以下のいずれかで1部門につき1,000円をお支払いください。

1)郵便為替を作品と同封してください。

2)ゆうちょ銀行の指定口座に振込み、利用(振込)明細書のコピーを作品と同封してください。

※送付費用・振込手数料は、応募者負担となります。3部門に応募される方は、応募手数料3,000円をお支払いください。また、理由の如何を問わず応募手数料の返金は行いません。

●応募作品のプリント、および記録メディアの返却は行いません。あらかじめご了承ください。

●落選された方への通知は行いません。また、審査や入賞に関して個別の問い合わせへの対応は行っておりません。

●作品に掲載された著作物、肖像の権利については、応募者本人が事前に使用許諾を得たものであることとします。

●応募作品に関して何らかの問題が発生した場合、すべて応募者の責任とします。

●応募作品の著作権は撮影者に帰属します。(ただし、別途の応募規定により一定期間は主催者が無償で使用できるものとする。詳細は右記をご覧ください。)

※ご応募に関する個人情報、法令に基づき適切に管理し、選考・結果通知、開催告知などの本企画以外の目的には使用いたしません。

【応募規定】★応募作品の著作権と使用権について

1)応募作品の著作権は、撮影者に帰属します。

2)ジャパンバードフェスティバル(以下JBF)実行委員会が入賞作品を、展覧会のほか、制作する作品集、パンフレットなどの広報物に無償使用する権利を、3年間を限度に保有します。ただし、歴代のグランプリ、準グランプリ受賞作品を紹介する場合に限り、無償使用する権利の保有期間に限度はありません。

3)JBF実行委員会は入賞作品を本コンテストおよびJBFの広報活動として、ポスター、チラシ、新聞、雑誌、テレビ、ホームページ、ラベルなどで無償使用することができます。また、その広報物の制作の際には、作品の部分使用や作品内に文字や他の画像・図版を入れることができます。

4)3で制作された広報物の著作権(二次的著作物の利用に関する原作者の権利)はJBF実行委員会に帰属します。

5)入賞作品の使用にあたっては撮影者の氏名表示を行います。ただし、JBF実行委員会の発行物以外、各版元の判断に委ねることになりますので、不完全になる場合も有り得ます。

6)JBF実行委員会は応募作品を当コンテストの結果報告および小中学校等での教育目的使用すること以外では第三者に貸与することはありません。貸与する場合には、撮影者に事前に利用目的、使用条件(有償、無償)を説明した上で、承諾が得られたものについてのみ貸与いたします。ただし、グランプリ、準グランプリおよび各企業賞に入賞した作品に関しては、副賞賞品を提供している各企業に1年間の使用権が与えられます。

7)応募作品が他のコンテストでの入賞や印刷物、展覧会などで有償で公表されていること、JBFの趣旨にそぐわない作品であることが判明したときは、JBF実行委員会は入賞、入選等を取り消すことができます。

8)未入賞であっても応募票で承認されている場合、2項と同様の権利をJBF実行委員会は保有します。

※作品ごとに貼付してください。

作品タイトル (鳥種名：)		作品展示 優先順位		複数ご応募いただく場合は 順位をつけてください。 (審査には影響しません)	
いずれかに○をつけてください		①生態・行動部門		②環境部門	
		③クリエイティブフォト部門			
コメント(撮影/制作意図、加工部位)					
撮影場所		都・道・府・県 郡・区・市・町			
撮影年月日		年	月	日	使用カメラ ☐ デジスコ/スマスコ
使用レンズ/スコープ				絞り	
シャッタースピード		ISO感度		ホワイトバランス	
写真の天地を矢印で 記入してください		マナーを守った野鳥撮影を実践しています ☐			
フリガナ				未入賞であっても別途選出された場合、 出版物などに掲載されることを ☐ 希望する ☐ 希望しない	
お名前					
性別	男性	女性	年齢	歳	写真歴 年
ご住所 〒					
TEL () -					
メールアドレス					

応募締切
2021年8月16日(月)必着

全日本鳥フォトコンテスト応募票(コピー可)